

# 畜産ネットワーク ちば

2017年5月24日  
第39号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会  
〒260-0021  
千葉市中央区新宿1-2-3  
K&T千葉ビル3階  
発行人 森 英介

## 《就任にあたっての挨拶》



千葉県農林水産部  
畜産課長 富田 耕太郎

畜産協会の会員及び畜産関係の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年3月24日に旭市で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応におきましては、関係の皆様にご多大なる御協力をいただき、3月27日には防疫措置を完了し、4月18日午前0時をもって移動制限の解除、並びに終息宣言を行うことができましたことに、重ねてお礼申し上げます。

さて、平成27年の本県の畜産産出額は1,350億円と、生乳で全国第5位、豚で第3位、鶏卵で第2位を占めるなど、本県は全国でも有数の畜産県であり、畜産合計で全国第5位の地位を維持しております。

畜産を取り巻く情勢は、主要な畜産物価格が好調であるものの、生産資材や素牛価格の高騰による生産コストの上昇、アメリカとのTPPに代わる二国間協議やEUとのEPAの先行き不安など多くの課題を抱えております。現在、県では千葉県農林水産業振興計画（計画年度26～29年度）に基づき、畜産経営の強化とブランド力の向上を実現するため施策を推進することとしており、平成29年度は主に次の対策に取り組んでまいります。

### 1 家畜の生産性向上

乳用牛及び繁殖和牛の増頭、及び飼養管理技術の向上に取り組むとともに、系統豚ポウソウL4の普及促進や優良受精卵を活用し家畜の改良を進めるなど、生産性の向上を目指します。

### 2 経営基盤の強化

地域ぐるみで中心的経営体を支援していく畜産クラスターを活用し、省力化及び規模拡大を推進し、収益力の向上を図ります。また、自給飼料の生産拡大を図るとともに、家畜排せつ物の適正管理と有効利用を進め、経営の安定化を目指します。

### 3 ブランド力の向上

県産食肉のブランド力の向上のため、チバザポーク（豚肉）における農業生産工程管理の認証取得による他県産豚肉との差別化、チバザビーフ（牛肉）の肉質向上と出荷量の安定化を目指します。

### 4 家畜衛生対策の強化

口蹄疫や鳥インフルエンザ等の悪性伝染病の発生予防と、万一発生した場合における迅速な防疫対策の一層の強化を図ります。

県施策の推進につきまして、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に会員及び畜産関係の皆様のご益々の御発展を祈念申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

## 目次

- |                                               |                              |
|-----------------------------------------------|------------------------------|
| 【1】 就任にあたっての挨拶                                | 肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業       |
| 【2】 平成29年度畜産協会事業推進体制                          | 【7】 チバザビーフ協議会報               |
| 【3】 平成28年度第2回通常理事会開催<br>ちば畜産レディースネットワーク会報     | 【8】 平成29年度千葉県畜産関係機関一覧表       |
| 【4】 平成29年度家畜衛生対策事業の推進について                     | 【10】 NPO法人いぎいき畜産ちばサポートセンター通信 |
| 【5】 平成29年度畜産クラスター事業<br>平成29年度酪農経営体生産性向上緊急対策事業 | 【11】 黄綬褒章を受章！島田榮夫氏 種豚改良に尽力   |
| 【6】 肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業                  | 【12】 NPC通信                   |
|                                               | 【15】 新規職員紹介                  |
|                                               | 【16】 牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？  |

# 平成29年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務課 槌屋）

## 《 理事会 》

- ◆会長理事 森 英介（非常勤）
- ◆副会長理事 5名（非常勤）
- ◆理事 10名（非常勤）
- ◆専務理事 鈴木 邦夫（常勤）

## 《 委員会 》

- ◆家畜衛生評議委員会
- ◆養豚振興委員会

## 《 事務局 》

部署・職名等		氏名	主な業務の内容	
専務理事	(常勤理事)	鈴木 邦夫	・本協会の総括	
事務局長	(総務課長兼務)	福島 達哉	・本協会業務の総括 ・畜産クラスター事業	
総務・企画部	部長	(衛生指導課長兼務) 松木 英明	・総務・企画部の総括	
	総務課	調査役 槌屋 健太郎	・庶務、経理、管理 ・畜産コンサルタント等設置事業	
		主事 長嶋 柚子		
		臨時職員 藤代 直子		
	企画課	課長 武田 善秀	・肉用牛肥育の経営安定に関する事 ・畜産物の消費拡大に関する事 ・生産者、流通加工業者、消費者との相互理解促進 ・広報等	
		主任主事 小倉 崇司		
		臨時職員 瀧口 麻美		
		臨時職員 胡口 常代		
	事業部	部長	(経営・環境課長兼務) 奥住 英雄	・事業部の総括
		経営・環境課	技師(企画課兼務) 飯沼 大輝	・畜産経営技術指導、支援等 ・担い手育成支援 ・貸付事業等の指導 ・飼料用米等の自給飼料生産の振興 ・家畜排せつ物法、生産者のコンプライアンス等
嘱託職員 薫田 耕平				
衛生指導課		臨時職員 高橋 早苗	・家畜の自衛防疫等の推進、指導等 ・死亡牛の処理円滑化事業 ・家畜防疫互助基金造成等 ・指定獣医師に関する事	
		臨時職員 石山 操		
生産課		課長 金杉 文一	・養豚の振興等 ・豚の登録、共進会等豚の改良に関する事 ・肉豚の価格補償に関する事 ・肉用牛の生産振興に関する事 ・肉用子牛の価格の安定、生産拡大等に関する事	
		嘱託職員 加藤 脩三		
		臨時職員 高橋 真理		

## 《 畜産団体事務局及び担当者 》

- ★千葉県養蜂協会（総務課 槌屋）
- ★千葉県畜産物消費拡大推進協議会（企画課 武田）
- ★チバザビーフ協議会（企画課 小倉）
- ★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター（経営・環境課 薫田）
- ★千葉県自家検定推進協議会（生産課 金杉）
- ★ナイスポークチバ推進協議会（生産課 加藤）
- ★ちば畜産レディースネットワーク（総務課 長嶋）
- ★千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会（経営・環境課 飯沼）
- ★千葉県馬事畜産振興協議会（経営・環境課 飯沼）
- ★チバザポーク販売推進協議会（生産課 金杉）

## 《 連絡先等 》

TEL : 043-242-5417 (代)	[総務課]	FAX : 043-238-1255	[共通]
043-242-6333	[企画課]	Eメール : info@chiba.lin.gr.jp	
043-241-1738	[経営・環境課、衛生指導課]	URL http://chiba.lin.gr.jp	
043-241-3851	[生産課]		

## 本誌「畜産ネットワークちば」に広告を掲載していただだけませんか！

年3回発行（春、秋、新年）。掲載は、頁最下段にこの大きさ（170mm×45mm）で。

掲載料1回1万円（1回単位で申し込めます）

お問い合わせは、千葉県畜産協会 総務・企画部まで（Tel 043-242-5417）

## 平成28年度第2回通常理事会開催

平成29年3月6日、プラザ菜の花において、森会長出席のもと平成28年第2回通常理事会が開催され、平成29年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全3議案が原案どおり承認されました。

畜産を取り巻く情勢は、米国のTPP離脱を受けてのFTA交渉等、国際的な畜産物流通の進展、また、国内では、労働力・後継者問題等による生産基盤の弱体化が懸念されており、その対策が課題となっております。

一方、家畜衛生においては、口蹄疫並びに高病原性鳥インフルエンザ等の伝播力の強い悪性伝染病の侵入防止対策、牛ウイルス性下痢・粘膜病、オーエスキュー病、PED等の慢性疾病対策による生産性の向上が課題となっております。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえて、畜産物の輸出促進や食材の提供等、その調達基準がJGAP畜産物として検討されておりますが、当協会が推進している農場HACCP認証制度等を含め、安全・安心な畜産物に対する、消費者からの信頼を得るためにも、今後、ますます畜産農家における生産管理が重要になってくると思えます。

畜産協会としても、このような状況を踏まえ、生産者、関係機関との密接な連携を図り、畜産クラスター事業をはじめ、畜産経営安定対策、県産畜産物の消費拡大、生産性の向上対策等の事業を推進し、これまで以上に畜産経営の安定に寄与してまいります。

また、緊急課題や当協会独自事業についても積極的に取り組み、様々な場面で関係各位の信頼確保に努めてまいります。(総務課 穂屋)



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第22号



モ～モ～フ～フ～コケッコ～



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。



### 活動記録

#### ◆平成28年度視察研修会

平成29年2月14日(火)に視察研修会を開催いたしました。本年度は茨城県にあります、ポケットファームときどきと筑波山へ行きました。

ポケットファームときどきでは、ソーセージ作り体験をしました。腸詰め作業は、空気が入ってしまったり、均一な太さにできなかつたりと、結構難しいものでした。パンパンに詰めすぎてねじる時に破裂してしまったり、歪な形のものもできましたが、とてもおいしかったです。私も初めての体験でしたが、とても楽しめました。

昼食は、ポケットファームときどき内にあるランチbuffetをいただきました。茨城県の銘柄豚「ローズポーク」のしゃぶしゃぶがあったり、地元の野菜などをふんだんに使った料理が並んでいたり、とても豪華なbuffetで、みなさん大満足でした。昼食を済ませた後には、直売所の見学をしました。

予定ではこの後、牛久大仏へ行く予定でしたが、大仏はバスの中からも拝むことができ、天気も良かったので、筑波山へ行くこととなりました。バスを降りてからケーブルカー乗り場までの道のりが長く、たくさん歩き疲れましたが、頂上につくと、まだ雪の残るひんやりとした空気が気持ちよく、素敵な景色に癒されました。

参加者は少なかったものの、交流も深まり、とても充実した視察研修会となりました。



### 活動予定

#### ◆平成29年度総会・情報交換会の開催

平成29年度の総会等を次のとおり予定しております。(事務局 長嶋)

日程：平成29年6月27日(火)  
場所：ホシザキ関東株式会社千葉支店(千葉市中央区登戸1-19-19)  
時間：総会11時～・研修会11時30分～・情報交換会13時40分～  
会費：昼食代 3,000円/1名

皆様のご参加を  
お待ちしております  
あります☆



# 平成29年度家畜衛生対策事業の推進について

畜産協会では畜産農家自らが行う防疫活動に対して、市町村家畜防疫会、家畜保健衛生所及び関係機関・団体・業者の皆さんのご協力のもとに、各種補助事業等への取組み並びに各種支援事業の推進にあたっております。平成29年度につきましても、県内畜産農家の飼養衛生管理並びに生産性の向上を目指し、各種衛生関連事業を推進してまいりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

各畜種ごとの衛生対策の概要は以下のとおりです。（専務理事 鈴木）

## 【牛疾病対策】

牛疾病対策関係では、引き続き、牛ヨーネ病・牛白血病・牛マイコプラズマ性乳房炎病の清浄化に向けて、感染拡大防止のための検査並びにとう汰の推進を図る。

また、近年、発生頭数が増加するなど問題となっている、牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）対策につきましても、昨年度に引き続き、本病の検査並びに持続感染牛の淘汰、ワクチン接種等への助成を実施する。

## 【豚疾病対策】

豚病対策関係では、オーエスキー病（以下、AD）の清浄化が喫緊の課題となっている。AD清浄化対策は平成20年度に対策指導が強化され、これまでワクチン接種の徹底に加え、感染豚の摘発とう汰を推進し、昨年度、清浄化達成まで今一步の段階へと大きく進展してきました。しかしながら、まだ清浄化未達成であることから、県の指導のもと、今年度も当協会を通じ、ワクチン接種を継続し、早期清浄化を目指し取組んでいく。

また、今年度新規事業として、PED・PRRS・ADなどの生産性を阻害する疾病対策に取組む自衛防疫組織（農場を含む）に対して、必要な防疫対策等に助成を行い、疾病発生の低減、生産性の向上を図る。

## 【馬疾病関係】

馬病関係では、馬飼養衛生管理の充実強化を図るとともに、昨年度と同様に各種ワクチン接種に対し助成し、馬の自衛防疫を推進する。

## 【その他、衛生関係】

自衛防疫体制の維持・強化を図るため、市町村家畜防疫会等の行う自衛防疫活動に対する支援、生産者参加による防疫演習（高病原性鳥インフルエンザ等）の実施、野生獣による飼養衛生管理上の危害防止対策並びに衛生対策の基礎となる飼養衛生管理基準の啓発等の事業を推進する。

【主な補助事業に係る平成29年度計画と平成28年度実績】

区分	平成29年度計画		平成28年度実績		備考	
	補助単価	頭数	補助単価	頭数		
牛疾病対策	①ヨーネ病対策 淘汰費	346,600円	5頭	-	0頭	評価額の2/3
	②牛白血病対策	931円	840頭	594円	1,032頭	検査料は1/2
	③異常産3混ウツ	128円	11,000頭	128円	9,045頭	定額
	④異常産ウツ初ウツ	128円	5,000頭	128円	4,205頭	定額
	⑤牛ウイルス性下痢・粘膜病対策 ア 検査費	795円	3,000頭	731円	3,017頭	検査料は1/2
	イ PI牛の淘汰費	250,000円	25頭	187,400円	21頭	評価額の2/3
	ウ ウツ接種費	220円	3,000頭	220円	1,275頭	定額
	⑥死亡牛処理関係 ア 輸送費A	2,000円	950頭	2,000円	843頭	定額
	イ 輸送費B	1,500円	365頭	1,500円	317頭	定額
	ウ 輸送費C	2,000円	565頭	2,000円	526頭	定額
イ 化製処理費	7,500円	930頭	7,500円	822頭	定額	
豚疾病対策	①オーエスキー病ウツ	38円 -	50,000頭 -	38円 36円	(国) 32,500頭 (県) 1,179,470頭	定額(H29は感染豚摘発農場への補助)
	②オーエスキー病抗体検査	500円	3,000頭	417円	2,728頭	検査料は1/2
	③オーエスキー病淘汰助成	35,000円 24,000円	20頭 200頭	35,000円 24,000円	9頭 635頭	定額(種雄豚) 定額(繁殖雌豚)
馬疾病対策	(軽種馬) ①馬インフルエンザウツ	925円	70頭	925円	45頭	1/2・1~2歳
	②3種混合ウツ	1,415円	70頭	1,415円	45頭	1/2・1~2歳
	③日本脳炎ウツ	335円	30頭	335円	16頭	1/2・2歳
	④馬鼻肺炎ウツ	3,645円	20頭	3,645円	6頭	1/2・繁殖牝馬
	(乗用馬) ①馬インフルエンザウツ	1,860円	700頭	1,682円	112頭	1/2

\* 農家へ交付される補助金は、事業終了後、事業費の確定に基づき補助単価を算定の上、年1回随時支払われることとなります。（表の29年度補助単価は補助上限額を示したもので補助交付単価ではありません。）



# 平成29年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）

## 畜産クラスターとは・・・

畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制のことです。

### 《主な内容》

#### 1. 施設整備事業

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備や施設整備と一体的な家畜導入を支援。

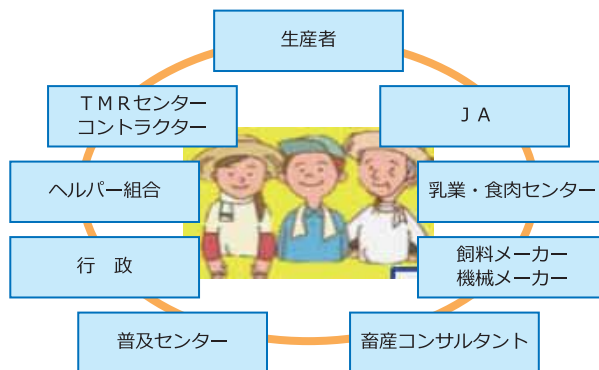
#### 2. 機械導入事業

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、施設整備との一体性も確保しつつ、収益力の強化等に必要な機械のリース導入を支援。

#### 3. 調査・実証・推進事業

収益力の強化に向けた新たな取組を行う畜産クラスター協議会に対し、その効果を実証するために必要な調査・分析を支援。また、畜産クラスター事業の効果を一層高めるため、地域の連携をコーディネートする人材の育成を支援。

### 《畜産クラスター協議会》



### 《機械導入事業の第2回要望調査の実施》

7月に要望調査を開始します。

要望のある場合は、所属するクラスター協議会へお問い合わせ下さい。（生産課 金杉）

# 平成29年度酪農経営体生産性向上緊急対策事業（通称：楽酪事業）

## 楽酪事業とは・・・

酪農家をはじめ、地域の酪農関係者が連携・結集し、農業従事者の中でもとりわけ過酷な労働条件にある酪農家の働き方の改善を図るとともに、省力化機器の導入等により生じたゆとりを活用し、飼養管理技術の高度化を図るための事業です。

### 省力化に資する機械装置の導入

国庫補助上限：1戸当たり3千万円

#### ○搾乳機械装置



##### 【搾乳ロボット】

・乳用牛が自発的に搾乳室に入出入し、搾乳作業を自動化



##### 【ミルクングパーラー】

・乳用牛を搾乳室に移動させ、搾乳作業を集中化



##### 【搾乳ユニット搬送レール】

・つなぎ飼い経営で利用する搾乳器（約9kg）をレールで搬送

#### ○飼料給与装置



##### 【自動給餌機・餌寄せ装置】

・餌槽に飼料を散布し、飼料給与作業を自動化  
・口元に餌を戻し、食残しを低減



##### 【ほ乳ロボット】

・ほ乳牛が自発的に飲乳し、ほ乳作業を自動化

#### ○発情発見装置



##### 【発情発見装置・分娩監視装置】

・発情した牛は歩数が増えることから、活動量を用いて発情を発見

お問合せ先

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部 生産課（担当：金杉、福島）  
TEL：043-241-3851 FAX：043-238-1255

# 肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

## 1 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格の改定について

次のとおり改定がありましたので、ご案内いたします。

(単価：円/頭)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
29年度	保証基準価格	339,000	309,000	221,000	136,000	210,000
	合理化目標価格	282,000	259,000	150,000	93,000	152,000
28年度	保証基準価格	337,000	307,000	220,000	133,000	205,000
	合理化目標価格	280,000	257,000	149,000	90,000	147,000

## 2 繁殖経営支援事業に係る発動基準の改定について

次のとおり改定がありましたので、ご案内いたします。

(単価：円/頭)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準	29年度	460,000	420,000	300,000
	28年度	450,000	410,000	290,000

なお、肉用子牛生産者補給金及び繁殖経営支援交付金については、発動のない状況が続いておりますが、個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。(企画課 武田)

# 肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業

## 1 生産者積立金単価の変更について

次のとおり定められましたので、ご案内いたします。

(単位：円/頭)

区 分	29年度	(28年度比)	積立金総額	28年度
肉専用種	6,000	△4,000	24,000	10,000
交雑種	19,000	△6,000	76,000	25,000
乳用種	22,000	△4,000	88,000	26,000

※3月31日までに販売された個体は旧単価が適用されます。

## 2 肥育牛補填金単価について【平成28年10月～平成29年3月販売分】

今年度も毎月払いが継続して実施されます。個体登録申込、販売・異動の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。

(単位：円/頭)

区 分	平成28年10月			平成28年11月			平成28年12月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,276,834	755,091	448,583	1,291,894	745,764	448,033	1,312,607	763,231	444,931
生産コスト (B)	1,051,808	743,738	505,250	1,063,672	753,554	512,419	1,073,802	750,360	521,413
差額 (C)=(A)-(B)	225,026	11,353	△56,667	228,222	△7,790	△64,386	238,805	12,871	△76,482
補填金単価 (C)×0.8	-	-	45,300	-	6,200	51,500	-	-	61,100

区 分	平成29年1月			平成29年2月			平成29年3月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,266,844	759,703	440,080	1,229,696	713,049	436,013	1,218,652	705,404	431,082
生産コスト (B)	1,080,186	747,078	530,461	1,075,612	751,780	530,586	1,081,119	754,234	519,522
差額 (C)=(A)-(B)	186,658	12,625	△90,381	154,084	△38,731	△94,573	137,533	△48,830	△88,440
補填金単価 (C)×0.8	-	-	72,100	-	30,700	75,200	-	39,000	70,700

※補填金単価は100円未満切捨てです。

また、牛マルキン事業では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりません。繁殖雌牛や種雄牛を申込んだ場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）を提出して下さい。(企画課 小倉)



# チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



## ◆第7回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭の開催

平成29年2月20～21日にかけて、第7回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭が開催されました。

### ＜前夜祭＞（H29.2.20）

■場所：第一ホテル東京シーフォート3階「ハーバーサーカス」  
食肉関係者等115名の出席をいただきました。

「若潮牛（交雑種）」のステーキ、「しあわせ絆牛（交雑種）」のローストビーフ、「みやざわ和牛（黒毛和種）」のシェフの逸品料理を特別に調理いただき、来場者に振る舞われました。

チバザビーフPR大使「コズミック☆倶楽部」や千葉県市川市出身の歌手「知里」さんによる応援ステージが会場を彩りました。



おもてなし牛肉  
（若潮牛）



PR大使「コズミック☆倶楽部」  
と歌手の「知里」さん

### ＜共励会＞（H29.2.21）

■場所：東京都中央卸売市場食肉市場（審査講評、褒賞授与式は東京食肉市場センタービル8階会議室）

■出品頭数：80頭（黒毛和種 25頭、交雑種 55頭）

■黒毛和種の部

（単位：円）

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	宮澤農産	3,014	1,742,092	㈱富作商店	千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会長賞
優秀賞1席	落合 完	2,899	1,571,258	㈱日本精肉店	東京都中央卸売市場 市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	宮澤農産	2,909	1,678,493	アンデス食品㈱	公益社団法人日本食肉格付協会長賞
優良賞1席	関口牧場	2,738	1,538,194	小川畜産興業㈱	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞2席	高山 和視	2,633	1,540,305	マルイミート㈱	千葉県肉牛生産農業協同組合長賞

■交雑種の部

（単位：円）

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	関口牧場	2,029	1,253,922	小川畜産興業㈱	千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会長賞
優秀賞1席	コウゴ牧場	1,796	982,412	㈱丸全	東京都中央卸売市場 食肉市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	嶋田 良雄	1,752	890,016	小川畜産興業㈱	全国畜産農業協同組合連合会長賞
優良賞1席	埴 正一	1,800	1,065,600	小川畜産興業㈱	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞2席	斉藤良雄	1,759	891,813	小川畜産興業㈱	千葉県と畜場協会 会長賞

## ◆県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。



### ☆チバザビーフPR大使コラボライブ（H29.3.11）

チバザビーフPR大使「コズミック☆倶楽部」のホーム、柏市のライブ会場「デスカマジ」にてコラボライブが開催されました。チバザビーフ（かずさ和牛）の試食や千葉県の畜産に関するクイズの企画を盛り込み、会場に足を運んでくれたファンの方々に楽しく勉強してもらおうとともに、PRを行いました。

### ☆AIRPORT MARKET『空市』（H29.4.23）

成田空港第2旅客ターミナルビル前中央広場にて開催された『空市』は、空港と空港周辺地域のPRを主な目的として、今年で4回目の開催。チバザビーフは初めて出店させていただきました。千葉県のマスコットキャラクター『チーバくん』も千葉県産牛肉のPRに参加、併せてサイコロステーキの販売、及び抽選会への賞品提供を行いました。



事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 総務・企画部 企画課（担当：小倉）

TEL:043-242-6333 FAX:043-238-1255

# 平成29年度 千葉県 畜産関係機関一覧表

農林水産部	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1		〒285-0072 佐倉市岩富町497 TEL:043-498-1431 FAX:043-498-1475			
部署・TEL	職名	氏名				
043-222-2800	部長	伊東 健司	病理生化学課	次長	原 普	
043-223-2801	流通販売担当部長	石渡 安博		課長	木下 智秀	
043-223-2803	次長	長谷川 正克		上席専門員	関口 真樹	
043-223-2804	次長	奥倉 努		主任技師	島田 圭悟	
畜産課	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 FAX:043-222-3098		細菌ウイルス課	主任技師	綿村 崇宏	
部署・TEL	職名	氏名		技師	石井 寛人	
043-223-2931	課長	富田 耕太郎		課長	松本 敦子	
043-223-2929	副課長(事)	土屋 博章		上席専門員	大坪 岳彦	
043-223-2930	副課長(技)	渡辺 博剛		主任技師	橘 美奈子	
	主幹兼室長	井出 基雄		技師	三浦 良彰	
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹	大澤 浩司	東部家畜 保健衛生所	技師	岡本 みさき	
	副主幹	岩見 昌恵		技師	畑中 ちひろ	
	主査	河野 奈穂子		部署	職名	氏名
	主査	石川 直子		所長	青木 茂	
	副主査	松本 友紀子		次長	片山 雅一	
	副主査	倉地 充		主幹	石原 勇人	
	主事	佐藤 悠太		課長	古屋 聡子	
	技師	羽深 真里		主査	行方 康子	
生産振興班 043-223-2939	班長	大塚 洋功	衛生指導課	上席専門員	原 康弘	
	副主査	有路 優子		専門員	平野 亨	
	副主査	野村 俊介		技師	小形 次人	
	副主査	大河原 澄香		技師	関谷 圭美	
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	班長	中原 祐樹	防疫課	技師	不破 友介	
	副主幹	江森 美香		課長事務取扱	片山 雅一	
	副主査	山崎 直		専門員	中代 浩之	
	技師	本多 正隆		主任技師	阿部 敬	
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938 BSE対策本部 043-223-3084	副技監兼室長	風間 達也	南部家畜 保健衛生所	主任技師	進藤 彰	
	主幹	青木 ふき乃		部署	職名	氏名
	副主幹	笠井 史子		所長	渡邊 和彦	
	副主査	塚原 涼子		次長	篠原 栄里子	
	副主査	細野 真司		課長	藤野 晴彦	
担い手支援課	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 FAX:043-201-2615		衛生指導課	副主幹	柴田 祥子	
	技師	豊田 拓郎		副主幹	齊藤 満	
部署・TEL	職名	氏名	防疫課	上席専門員	田中 なほ子	
043-223-2900	課長	石家 健生		専門員	篠崎 康雄	
農業経営支援班 043-223-3087	班長	宮原 秀一	防疫課	技師	杉本 卓翔	
	主査	高橋 京子		課長	平島 淳	
専門普及指導室 043-223-2912	副技監(兼)室長	香取 茂男	防疫課	上席専門員	千葉 耕司	
	主席普及指導員	伊藤 静雄		専門員	今関 智恵	
	主任上席普及指導員	石塚 真理子		技師	土肥 世生	
	主任上席普及指導員	伊藤 禎昭		技師	中村 みどり	
中央家畜 保健衛生所	〒262-0011 千葉市花見川区三角町656 TEL:043-250-4141 FAX:043-236-0090		北部家畜 保健衛生所	技師	長田 貴	
	部署・TEL	職名		氏名	部署・TEL	職名
庶務課	所長	高橋 岩雄	衛生指導課	所長	森田 秀雄	
	次長	芦澤 尚義		次長	武石 佳夫	
	主幹	市沢 三香		課長	小川 明宏	
衛生指導課	課長	小澤 浩子	衛生指導課	副主幹	加藤 豊和	
	主査	寺田 賢二		副主幹	橋本 能子	
	課長	坂元 依子		主任技師	末政 奈津美	
	専門員	猪熊 道仁		技師	青木 朋子	
防疫課	技師	小山 祐介	防疫課	技師	鈴木 良平	
	技師	藤田 圭介		課長	小島 洋一	
	課長事務取扱	芦澤 尚義		副主幹	稲毛 幹雄	
	上席専門員	相田 洋介		主任技師	菅 賢明	
	専門員	倉地 舞		技師	石原 祐介	
	臨時的任用	清水 耕平		技師	渡邊 世奈	
				技師	岩間 亮祐	



畜産総合 研究センター	〒289-1113 八街市八街へ16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447		養豚養鶏 研究室	研究員	伊藤 香葉
	部署	職名		氏名	研究員
センター長		岡田 望		研究員	本多 芙友子
次長(事)	相原 考一	研究員		岡田 浩子	
次長(技)	細谷 肇	研究員		吉田 早希	
総務課	課長事務取扱	相原 考一	畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 〒290-0531 市原市国本602		
	副主幹	小川 美智代	部署	職名	氏名
	主査	今関 博子	TEL: 0436-96-1231  FAX: 0436-96-0956	所長	小林 正和
	主査	小柴 伸夫		主幹	市原 裕二
	主事	内藤 美咲		主査	小野寺 千枝
	主事	緑川 和子		主任上席研究員	渡邊 晴生
室長	鈴木 一好	主任上席研究員		村田 宏之	
主席研究員	斉藤 健一	主任上席研究員		斉藤 公一	
企画環境 研究室	主任上席研究員	井口 明浩	研究員	関根 大介	
	主任上席研究員	小野寺 道寛	研究員	瀧口 由貴	
	上席研究員	丸山 朝子	研究員	村田 美里	
	上席研究員	青木 大輔	畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 〒299-2507 南房総市大井686		
	研究員	長谷川 輝明	部署	職名	氏名
	研究員	名取 美貴	TEL: 0470-46-3011  FAX: 0470-46-3012	所長	山下 秀幸
研究員	行川 貴浩	主幹		杉本 清美	
乳牛肉牛 研究室	室長	川嶋 賢二		主査	柴田 由子
	主任上席研究員	山口 倫子		主任上席研究員	永福 和明
	研究員	福井 陽士		主任上席研究員	平尾 明
	研究員	小林 大誠		研究員	清水 貴文
	研究員	犬飼 愛	研究員	中橋 冬陽	
	研究員	諸岡 佳恵	研究員		
養豚養鶏 研究室	研究員	山崎 藍子	室長	高橋 圭二	
	室長	高橋 圭二			

農業事務所名	課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
千葉農業事務所	企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町473-2	副主幹	柴田 るり子	043-300-1985	043-293-3916
			技師	大畑 絵美		
	改良普及課		普及指導員	君塚 時江	043-300-0950	043-293-2710
			普及指導員	野中 太輔		
東葛飾農業事務所	企画振興課	〒277-0861 柏市高田990-1	副主幹	嶋村 和彦	04-7143-4122	04-7144-8260
	技師		中島 有美子			
	改良普及課		〒277-0005 柏市柏255-1	普及指導員	湯原 千秋	04-7162-6151
印旛農業事務所	企画振興課	〒285-0026 佐倉市錦木仲田町8-1	副主幹	杉本 裕	043-483-1129	043-485-9502
	副主査		関野 友利華			
	改良普及課		GL・主任上席普及指導員	伊藤 郁子	043-483-1128	043-485-9502
			普及技術員	小野 英吾		
香取農業事務所	企画振興課	〒287-0005 香取市佐原木1250-3	技師	溝井 つかさ	0478-52-9192	0478-54-5617
	技師		山桐 慶之			
	改良普及課		GL・主任上席普及指導員	平野 和則	0478-52-9195	0478-55-1703
			上席普及指導員	鎌田 望		
海匝農業事務所	企画振興課	〒289-2504 旭市二1997-1	副主幹	篠塚 正則	0479-62-0156	0479-64-2502
	副主幹		畑野 克巳			
	改良普及課		上席普及指導員	丸山 武則	0479-62-0334	0479-62-4482
			普及技術員	野口 航平		
山武農業事務所	企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿1-11	副主幹	安川 葉子	0475-54-1122	0475-55-8614
	副主査		村中 洋美			
	改良普及課		技師	中山 妙子	0475-54-0226	0475-52-7914
			普及指導員	佐野 実乃里		
長生農業事務所	企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原1102-1	副主査	久保田 尚	0475-22-1751	0475-26-2234
	改良普及課		主任上席普及指導員	岩瀬 裕子		
夷隅農業事務所	企画振興課	〒298-0293 夷隅郡大多喜町猿稻14	副主幹	江森 格	0470-82-4956	0470-82-5348
	改良普及課		普及指導員	小池 広明		
安房農業事務所	企画振興課	〒294-0045 館山市北条402-1	副主査	田仲 景士郎	0470-22-7131	0470-22-0097
	技師		加藤 久美子			
	改良普及課		主任上席普及指導員	浅野 清一郎	0470-22-8132	0470-22-0097
			主任上席普及指導員	渡辺 聡		
			普及技術員	清水 ゆかり		
君津農業事務所	企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵3-13-34	技師	川瀬 晶	0438-25-0107	0438-23-6698
	改良普及課		普及指導員	新垣 裕子		

# NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

去る4月25日（火）午後2時から平成29年度第1回理事会が公益社団法人千葉県畜産協会会議室に於いて開催されました。はじめに松田理事長の挨拶のあと来賓として千葉県農林水産部 畜産課主幹 大澤様、公益社団法人千葉県畜産協会事務局長 福島様からご挨拶をいただき、その後、理事長の進行で平成28年度事業実績報告及び29年度事業計画等について協議しました。その主な内容についてご紹介します。

## [平成28年度事業概要]

平成28年度は、各県での鳥インフルエンザの発生（青森、新潟、北海道、宮崎、熊本、岐阜、佐賀、宮城、千葉県）や全県内でのPEDの発生が見られ、円安による飼料や資材費の上昇、さらには少子高齢化の進展に伴う消費の停滞等、畜産環境は厳しい状況にありました。

国では、飼養衛生管理基準の5年ぶりの改正に伴う飼養衛生管理の徹底や農産品の輸出等積極的な農政を展開しています。

こうした状況の中、安全・安心・高品質な畜産物の安定供給のため、希望する農場に飼養衛生管理の向上強化につながる農場HACCP認証構築指導や中央家畜保健衛生所佐倉支所で実施している死亡牛検査補助業務、エコフィードの資源循環システムの推進等各種事業に取り組みました。

### 1 農場HACCP認証構築指導

本指導事業は（公社）千葉県畜産協会からの要請に基づき、農場HACCP推進農場の指定又は認証を希望する県内の農場に指導員を派遣し、構築の指導・助言を実施し、農場HACCPの普及推進に努めました。



- 【1】構築支援：25農場（酪農2、養豚20、採卵鶏3）
- 【2】28年度農場HACCP認証が承認された農場及び申請書提出農場：10農場（酪農1農場、養豚8農場、採卵鶏1農場）
- 【3】指導員派遣：NPO指導員12名（延361人）

### 2 食品の安全・消費者の信頼確保対策事業（国公募事業）

地域で農場HACCPを構築することにより畜産物の衛生対策が向上し、食の安全性が確保され消費者の信頼が進み、もって畜産物の高付加価値化への取組みを強化することを目的に、県、家畜保健衛生所、各農業事務所等関係者のご協力を得て県内5カ所で実施しました。

- 【1】構築支援地区：香取、君津、市原、安房（5農場；酪農1、養豚1、採卵鶏2、ブロイラー1）
- 【2】指導員派遣：NPO指導員5名（延63人）

### 3 ちば農商工連携事業支援

本事業は公益社団法人千葉県産業振興センターの公募事業で6次産業化を実施、又は目指している畜産農家等へ専門家を派遣し、農商工の連携を図り自家製品の商品訴求力の強化、マーケティングの支援、商品のラベルデザイン等、販売力アップを支援する事業。【取組：1件】

### 4 死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託事業

本事業は千葉県の公募事業で、中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する内容で、平成27年8月中旬から取組んでいる。【NPO会員4名・257日派遣】

## [理事会等の開催]

◎理事会、理事長・副理事長等会議、企画部等会議【延べ4回】  
事業活動や内容等の協議を行いました。

## [畜産研修会]

平成28年6月に「本県の畜産振興施策」、「新系統豚ボウソウル4について」を演題として第1回畜産研修会を、また、第2回研修会をNPO法人10周年記念講演会（「NPO法人設立10年の歩み」、「畜産をめぐる情勢と安全な畜産物の供給」）として29年3月に開催しました。

## [平成29年総会・畜産研修会の案内]

平成29年度第1回の理事会で総会への議案について協議され下記の内容となりました。また、総会終了後の研修会の演題も決定しました。会員ならびに関係者多数のご参席をお待ちしております。

### 1 平成29年度総会提出議案について

日時：平成29年6月29日（木）13時30分から

場所：千葉市生涯学習センター「メディアエッグホール」

第1号議案 平成28年度事業報告、収支計算書、貸借対照表、財産目録の承認について

第2号議案 平成29年度計画（案）及び収支予算（案）の承認について

第3号議案 入会金及び会費の額について

【1】会費の額 入会金 なし 【2】徴収方法 納入期日 平成29年9月30日まで

年会費 正会員（個人：5,000円、団体：10,000円）

賛助会員（個人：3,000円、団体：5,000円）

第4号議案 役員の改正について（任期満了に伴い、定款第16条の規定による理事及び監事の改選）

### 2 平成29年度第1回畜産研修会について（案）

演題1 （仮称）本県畜産の現状と展望

講師：千葉県農林水産部畜産課長

演題2 （仮称）「農場HACCPとGAP畜産版の取組みについて」

講師：公益社団法人中央畜産会 衛生指導部 守永部長

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局((公社)千葉県畜産協会内)

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：81会員（内正会員個人68・団体11、賛助会員2団体）

## 黄綬褒章を受章！ 島田 榮雄氏 種豚改良に尽力



2017年春の褒章受章者として、当協会副会長、また、ナイスポークチバ推進協議会顧問を務める旭市の島田 榮雄氏（72）が栄えある黄綬褒章を受章されました。

地元の農業高校在学中から養豚に興味を持ち、卒業して豚を飼い始め、10年後には民間での種豚改良の中核である優良指定種豚場の認定を受け、改良の成果を競う全日本豚共進会へも千葉県を代表して出品。地元干潟種豚組合の役員として生産性の向上と組織育成に取り組み県内有数の養豚産地の育成に貢献されました。

特に地域における豚人工授精所の開設、エコフィードの利用推進など常に新しい技術に積極的に挑戦、本県養豚振興への多大なる貢献が高く評価され今回の受章となりました。

島田氏は「受賞は個人ではあるが千葉県の養豚に対していただいたものである。」と受賞の喜びを語っています。（事業部 加藤）

わたしたち森久保薬品は  
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**  
<http://www.morikubo.co.jp>







## 1 A D 清浄化に頑張る生産者を支援 (2017.1.31)

千葉県におけるオーエスキー病清浄化の推進は、国の事業を絡めワクチン接種の徹底等、官民一体となり血の滲む努力により清浄化達成まであと一步のところまで到達しておりました。しかしながら、隣接する県から野外陽性豚移動の影響を受け、折角保たれていた清浄農場2農場（香取市）が汚染される大きな被害を受けました。

この農場の、他の生産者に対し迷惑はかけられないとの信念と、平成28年度清浄化を目指す県の方針に基づき、種豚の淘汰、更新を進めている姿勢に接し、ナイスポークチバ推進協議会会員でもある2農場に対し何らかの支援策はと役員会で協議した結果、導入経費一部支援のための募金活動を行い90万円の義援金が集まりました。義援金は塩澤会長から岩岡会長代理、名古屋理事の立ち合いのもと2農場にお渡しいたしました。

後日、丁寧な礼状が届き、28年度内陽性豚全頭淘汰が完了しました。清浄宣言に向け一步前進です。

## 2 防疫のため作成した看板補修のためのステッカー作成配布 (2017.2.10)

2012年5月に作成した農場用防疫の看板は約5年を経過し、日射の強い野外の場所では剥げ落ちてしまっているケースがあることから、再度作成について検討。看板の上から貼るステッカーを作成し従来作成配布した看板に2枚貼るサイズに合わせて作成し、経営規模に応じ会員に配布しました。作成したステッカーは単独でも活用可能で、防疫に対する意識向上に役立つ事を期待します。



## 3 平成28年度千葉県養豚大会 (2017.2.15)



その時々養豚問題に関する関心事をテーマに開催する千葉県養豚大会が印旛合同庁舎大ホールにおいて160名の参加により開催されました。

今回、農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課国際情報分析官 関川 寛己先生による『オリ

・パラリンピックの食材提供について』との演題の中でJGAP及びアニマルウェルフェアについて判りやすい説明をいただいた。

オリ・パラリンピックの食材調達における4つの原則（重視）として、①どのように供給されているか、②どこから採り、何を使って作られているのか、③サプライチェーンへの働きかけ、④資源の有効活用、と説明。「アニマルウェルフェア (Animal Welfare)」とは、家畜を快適な環境下で飼養することであり、近年、世界的にも注目されている考え方で、「快適性に配慮した家畜の飼養管理」と訳され、諸外国では、「5つの自由」の概念で表され、①飢餓と渇きからの自由、②苦痛、傷害又は疾病からの自由、③恐怖及び苦悩からの自由、④物理的、熱の不快感からの自由、⑤正常な行動ができる自由、と説明。アニマルウェルフェアに配慮することの意義として、日々の家畜の観察や記録、良質な飼料や水の給与が、家畜のストレスや疾病の減少に繋がる適正な管理が大切と講演された。世界的にアニマルウェルの対応が進む中、避けて通れない問題として日本型アニマルウェルへの対応が期待されている。

## 4 フードックスジャパン2017 諸外国からの豚肉輸出攻勢 (2017.3.7~10)

FOODEX JAPAN 2017（第42回国際食品・飲料展）が幕張メッセにて盛大に開幕しました。

42回目となる今年は、世界77カ国・地域から過去最多の食品・飲料メーカー・商社ら3,282社が出展し、国内外から多くの食品バイヤー・購買担当者が訪れ、活発な商談を繰り広げました。開催4日間で約85,000人が来場。日本の食肉も海外輸出のために日本畜産物輸出促進協議会を立ち上げ豚肉・牛肉・鶏肉・鶏卵など会場に出展し輸出に力を入れています。

今回、米国豚肉（アメリカンポーク）、EU（スペイン）の輸出戦略について情報収集いたしました。





米国のPRは『Nice to MEAT you! ごちポ』。パンフレットにあるPRの文言では、『チルド輸送でしっかり熟成するから、うまみ成分たっぷりだポ。アメリカから日本に着くまで、船で2週間。チルド輸送されるその2週間で、ポクたちは低温熟成されていくんだポ。フローズン輸送のポークよりも柔らかくて、とってもジューシー、うまみ成分たっぷりなごちそうポークの到着だポ。』とある。

最近の食肉通信情報では、「かたまり肉推進プロジェクト」を実施する。ポークは昨年からすでに実施してきたが、新たにビーフを加え、ダイナミックなアメリカンスタイルのバーベキューで塊肉を使い、簡単でおしゃれなBBQを楽しめるような提案を行う。家庭で塊肉を簡単に調理するための動画などを作成。ポークでは例年需要の伸びる時期の5月第3日曜日を「ごちポの日」に制定。それに合わせてプロモーションを行う。さまざまな販促ツールを作成し、店頭などでの展開を進める。さらにアメリカン・ポークのコースに



特化した販促活動を行う。トンカツを中心としたコースのメニューの紹介、店頭の支援ツールとして映像や「トンカツの歌」などを作成し、コースの需要を盛り上げる。また、量販店、外食店でアメリカン・ポークのさまざまなブランドを支援する。莫大な資金による日本市場への売り込みは強烈である。



一方EUの豚肉、中でもスペインは米国、カナダ、デンマークに次ぐ4番目の輸出国として名乗りを上げ、日本の豚肉にとって脅威となりつつある。スペインの生産する豚肉の約9割は三元豚（LWD）で、売り込みはかなり力を入れている様子が伺えた。

これ以上国産豚肉の需給率を下げないためにも、養豚チェックオフ制度の法制化による資金を活かした国産豚肉の利用PR、情報提供が急務と感じています。

## 5 関東養豚協議会開催・養豚チェックオフ制度法制化に向け議論 (2017.3.16~17)

茨城県鉾田市「いこいの村涸沼」において、関東7県（栃木・群馬・埼玉・長野・神奈川・千葉・茨城）から44名の生産者・関係者が出席し開催された。開催に際し、幹事県である茨城県養豚協会倉持会長から「諸外国との国際交渉の中で、どう生産者として対処していくべきか大切な時期。養豚チェックオフ活動が大切。」と挨拶。



各県から疾病発生状況の報告と環境問題として特に臭気対策について意見が出されました。今回最も重要な協議事項であるチェックオフについて、来賓として出席されたJPPA志澤会長から挨拶をいただき、関東として生産者の75%の賛同を確保する議論に入ったが、結束してこれを目指すとの決議もできず各県温度差を感じる中で会は閉じられた。会議終了後JPPA主導により、各県代表者及びJPPA役員による再協議によって、75%に向け努力するとの決定に至りました。



## 6 養豚チェックオフ法制化に向け「とんとん自助金」パンフレット配布

TPP対策の一環として、国の「農業競争力強化プログラム」の13項目に「チェックオフ導入の検討」が1項を占めました。

(一社)日本養豚協会(JPPA)はこれを推進するため「とんとん自助金」としてこれを進めるためのパンフレットを作成し、全国の養豚生産者に参加を呼び掛けています。

(→次頁に続く)



これはあくまでもJPPAの提言ではあるが、①国産豚肉の情報提供及び食育推進、②後継者及び従業員育成、③養豚に関する問題提起・調査・研究、④防疫・疾病対策への支援、⑤地域活動への支援、と大きく5つの項目を掲げている。資金管理団体が集まった資金をどのように運用するかは生産者75%の賛同を得ることで初めて議論がスタートすることになります。

農林センサスによる全国の養豚生産者（経営体）は3,673戸、75%達成はかなり高いハードルではあるが、このチャンスを生かさなければ、将来禍根を残すことになる。全国養豚生産者の決断を大いに期待します。

### 7 平成29年度県定期人事異動に伴い関係部署へ挨拶 (2017.4.12)

県定期人事異動に伴い、関係部署へ挨拶のため、NPC役員、塩澤会長、岩岡会長代理、飯田副会長、堀江・島田顧問と事務局計7名で県農林水産部を訪問した。

最初に塩澤会長から、県が1月24日国へ要請した「日EU・EPAへの対応に関する要望書」に対する御礼を述べた。その要請項目は次の二項である。



- ①豚肉、乳製品等の再生産が引き続き可能となり、畜産農家が安心して経営を継続できるよう、必要な国境措置をしっかりと確保すること。
- ②政府から生産現場に対して十分な情報を開示し生産現場の不安を払拭すること。

現在（一社）日本養豚協会（JPPA）が中心となり、チェックオフ制度の法制化を国へ求めている状況をパンフレットにより紹介した。伊東農林水産部長も関心を持たれており、生産者75%の賛同は大変ではと状況を理解されていた。千葉県はセンサスの数値から現状ではクリアできるが全国となると厳しい。ただ、生産者としてこのチャンスを何とか生かす努力を報告しました。

同時に畜産課において、新たに就任した富田課長と下記について意見を交わし、今後機会あるごとに、県行政の指導をお願いいたしました。



- ①疾病対策としての生産者及び関係機関における情報の共有。
- ②飼料米の養豚農家での利用。
- ③ポウソウL-4の普及。
- ④T P P対策として決定した養豚経営対策が施行される際の県の助成。
- ⑤環境問題として助成策（臭気対策）の対応。

### 8 設立総会・旭市養豚推進協議会全国有数の地域生産集団発足 (2017.4.20)

平成17年7月1日、旭市は海上町、飯岡町、干潟町との合併により、新旭市としてスタートして以降、干潟種豚組合と干潟地区養豚組合の統合は議論されてきました。本格的に組合一本化が議論されたのはここ2～3年で、漸くその機が熟し「旭市養豚推進協議会」として発足しました。役員については次のように選任されています。



〈旭市養豚推進協議会 役員一覧〉

職名	氏名	前組合
会長	松ヶ谷 裕	干潟地区
副会長	岩橋 弥	干潟種豚
	菅谷 智男	干潟地区
理事	秋 嘉幸	干潟種豚
	平野 健治	干潟種豚
	辻内 嘉明	干潟地区
	米本 孝之	干潟地区
会計	加瀬 一四郎	干潟種豚
	遠藤 隆志	干潟地区
監事	佐藤 祐一	干潟地区
	日下 義康	干潟種豚



【ナイスポークチバ推進協議会 事務局】担当:千葉県畜産協会 事業部 加藤

TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255



# - 新規職員紹介 -

【総務・企画部長 松木 英明】

このたび、千葉県畜産協会にまいりました松木です。

私は、これまで千葉県職員として、県庁や家畜保健衛生所を中心に勤務してまいりました。

県庁においては、チバザポークやチバザビーフの立ち上げに関わってきましたが、その事務を補完する千葉県畜産協会に勤めることとなったのも何かの縁を感じるところです。

チバザビーフについては、昨年度には東京食肉市場まつりに協賛県として参加するまでに至りました。そこで、市場における千葉県の和牛枝肉の状況について、少し見てみたいと思います。

### 和牛(搬入枝肉を含む)の4・5等級率

		H28年度	H24年度	H18年度
千葉県	去勢	72.3%	58.9%	50.0%
	めす	49.0%	43.6%	32.9%
全国	去勢	78.5%	69.3%	60.9%
	めす	60.7%	51.7%	46.9%

平成28年度の去勢の4等級と5等級の割合は、10年前の平成18年度と比べて、22.3ポイント向上し、72.3%となっています。全国合計と比べ、10ポイント以上の開きが、28年度には6.2ポイントの差に縮小し、農家の技術力向上が見られてきたものと思います。

また、1キログラム当たりの単価を見てみますと、4、5等級の全国合計との差が18年度の67円から28年度には45円と縮小しています。ただし、増加率として見てみますと、千葉県は2,237円が2,664円で119%、全国合計では2,304円が2,709円と117.5%とほぼ同じとなっています。4、5等級といえども、肉質等にはまだまだ改善の余地があると考えられます。

### 枝肉平均価格(搬入枝肉を含む)の推移

(単位:円)

		H28年度		H24年度		H18年度	
		4・5等級	全等級平均	4・5等級	全等級平均	4・5等級	全等級平均
千葉県	去勢	2,664 <i>-45</i>	2,580 <i>-54</i>	1,751 <i>-60</i>	1,659 <i>-55</i>	2,237 <i>-67</i>	1,889 <i>-248</i>
	めす	2,625 <i>-233</i>	2,340 <i>-159</i>	1,699 <i>-246</i>	1,520 <i>-67</i>	2,229 <i>-224</i>	1,758 <i>-240</i>
全国	去勢	2,709	2,634	1,810	1,714	2,304	2,137
	めす	2,858	2,499	1,946	1,587	2,453	1,998

※斜体赤文字は全国との差額

なお、これを全等級平均で見ると、千葉県では1,889円が2,664円で136.6%、全国平均は2,137円が2,634円と123.3%で、千葉県の和牛牛肉全体の底上げが図られたものと見られます。

現在、畜産はEUや米国とのFTA交渉等、不安材料には事欠かない状況ですが、過去の難局を乗り越え経営力をつけてきた千葉県の生産者にとっては、さらなる飛躍のチャンスとして捉えることができるものと期待しています。

そのような中、千葉県畜産業界の発展のために一生懸命働いてまいりますので、よろしくお願ひします。

## 瞳は未来を見つめてる。

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

**日本全薬工業株式会社**

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1






酪農課、肉用牛農家の皆様へ

## 牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

- ◇牛の管理者には、牛トレーサ法に基づく**耳標の装着及び各種届出**が義務付けられています。
- ◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレーサ法に基づく**罰則の対象**となります。
- ◇さらに、**各種補助金の対象から除外**されたり、**返還を求められる**場合もあります。



(独) 家畜改良センター

牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。  
牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは・・・

農林水産省関東農政局安全管理課

TEL: 048-600-0600 (内線; 3219)

もしくは

関東農政局千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL: 043-224-5611

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

●問い合わせ先: 審査部登録課 TEL: 03-3583-2142 URL <http://www.keiba.go.jp/>

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール: [info@chiba.lin.gr.jp](mailto:info@chiba.lin.gr.jp) URL <http://chiba.lin.gr.jp>

畜産ネットワークちば 第39号 (16)